

## 2. 高齢者お達者プランの実績について

### (3) 第8期計画の取組みについて

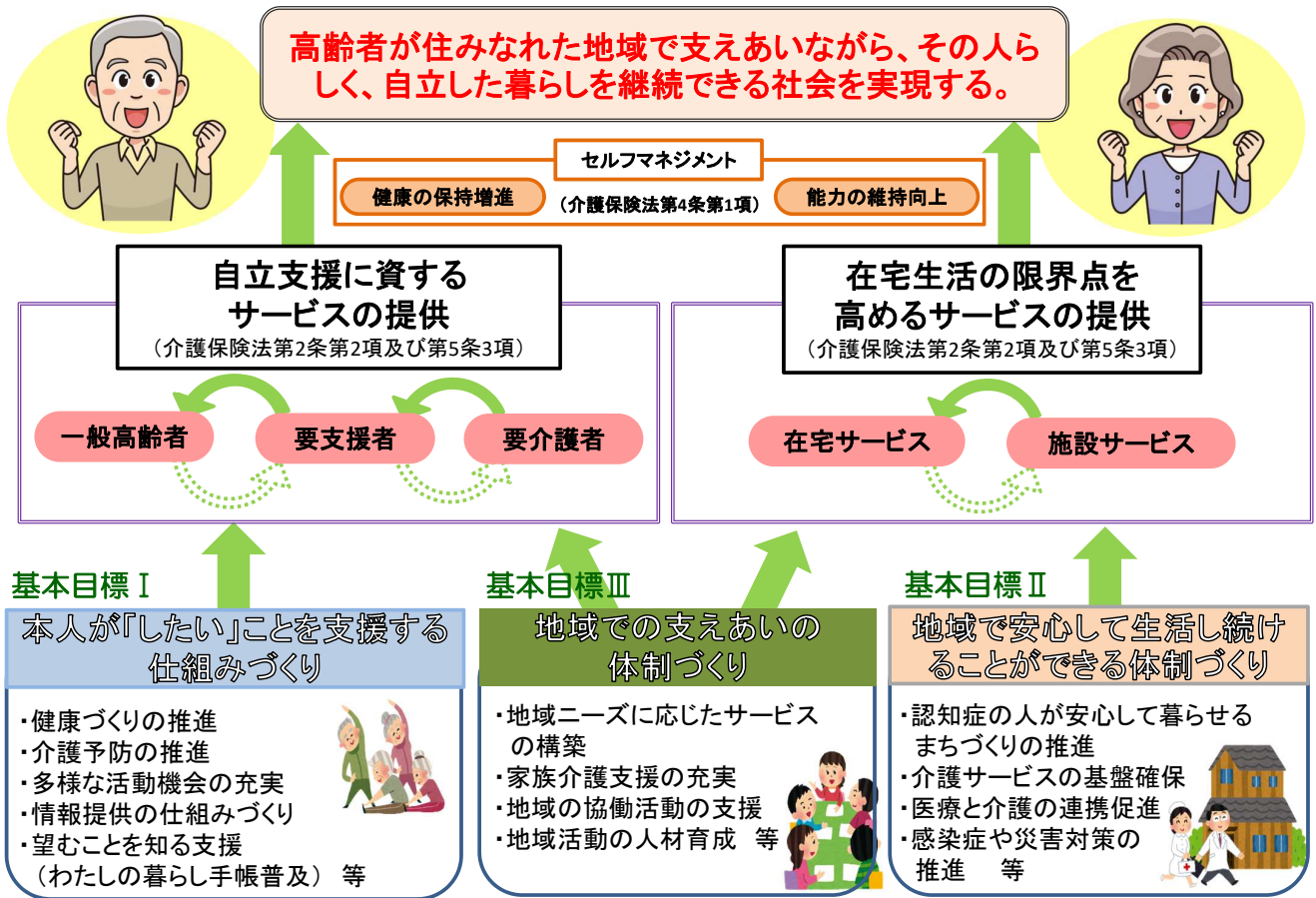


加賀市市民健康部介護福祉課

令和3年7月1日



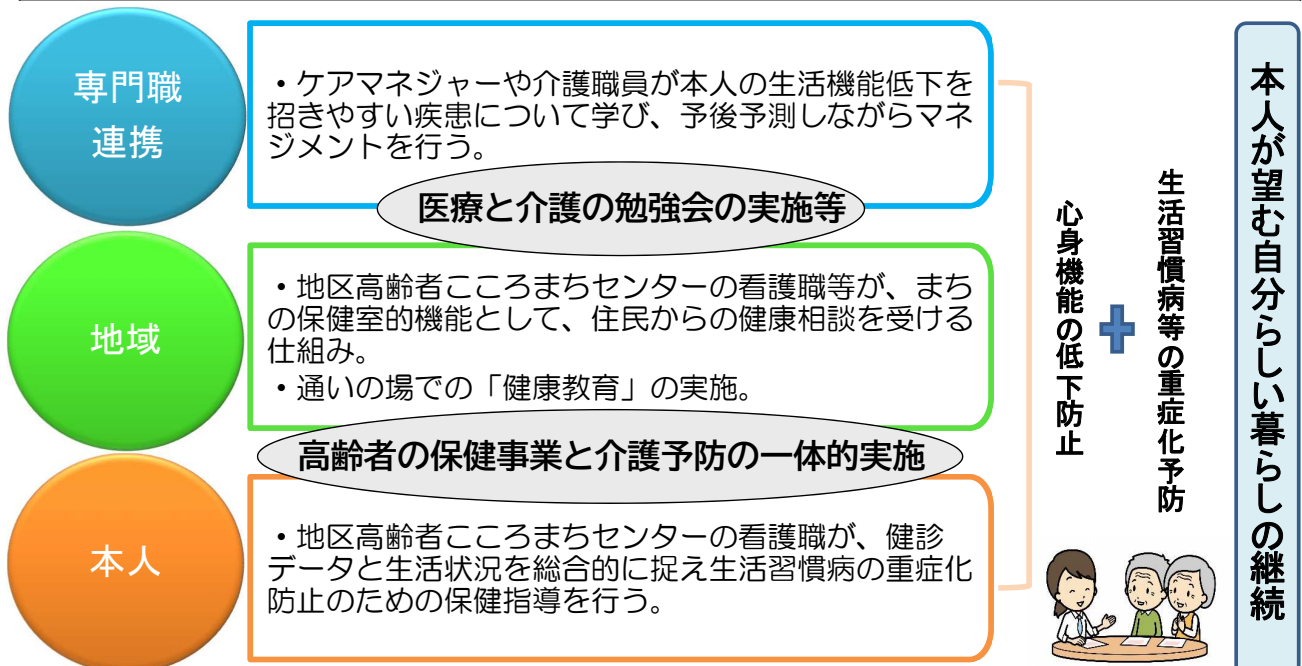
# お達者プランの基本理念と第8期計画の重点的な取り組み



## 「介護予防の取り組み」

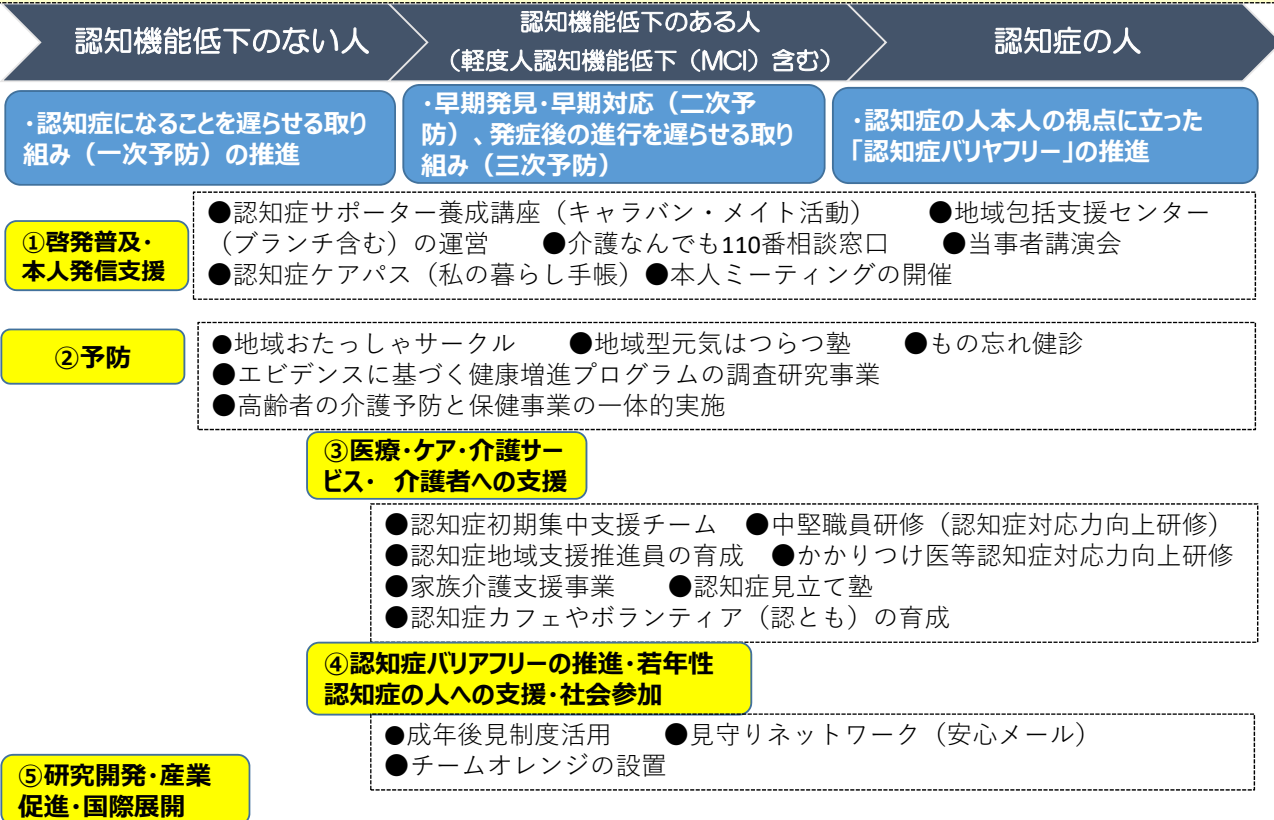
計画書 62ページ～

課題	
【支援者側】	高齢者は何かしらの疾病をかかえ、治療している。健康な状態で生活するには、疾病の理解(症状や治療方針など)し、予後予測する視点がケア者には必要。
【地域】	地域で介護予防・健康づくりに、継続的に取り組む仕組みや仕掛けが必要。
【本人】	セルフケア能力(フレイル予防、疾病の悪化防止)向上の取り組みが必要。



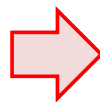
●施策推進大綱 【基本的な考え】

認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し認知症の人や家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進



## 「24時間365日の地域生活を支えるための基盤確保」

- ※ 独居や高齢のみ世帯の増加
- ※ 中・重度の要介護認定者の増加
- ※ 認知症の高齢者の増加



地域で安心して暮らし続けるための基盤の確保が必要

圏域	事業所数
大聖寺圏域	3ヶ所
山代圏域	3ヶ所
片山津圏域	2ヶ所
橋立圏域	1ヶ所
作見圏域	2ヶ所
動橋圏域	2ヶ所
山中圏域	1ヶ所
計	14ヶ所

「通い」「訪問」「宿泊」を1つの事業所で24時間365日切れ目なく提供可能

自宅 → 事業所

「通い」を中心とした利用

容態や希望により随時「訪問」

容態や希望により随時「宿泊」

在宅生活を支える基盤として、より地域に密着したサービス提供を行うために整備

介護人材確保の取組を進めた上で、第8期中に1ヶ所(山中圏域)の整備予定整備時期は、介護人材の状況を見極めて検討を行う

- 介護サービスの需要増加
- 介護の担い手となる現役世代の減少
- 介護業務の負担増加



介護人材の確保や介護業務の効率化に係る取組の推進が必要

課題	取組内容
介護人材の確保	介護職の魅力向上に関する取組の検討
生活課題の複雑化・複合化	多様な人材の確保・育成の支援 (多機能にわたり対応ができる相談専門職の人材育成)
介護職員の負担軽減	・介護ロボット・ICT導入 ・事務負担軽減のための提出書類の削減